

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

* 当院では、下記の臨床研究を実施しております。

* 研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。

* 本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

* もし、診療情報提供をご了解いただけない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

* 研究はあくまで日常診療から集積された既存の診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様には何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 (承認番号) | 手術患者の術後日常生活活動(ADL)悪化に対する鎮痛薬・鎮静薬・向精神病薬の影響—高齢者を中心にした後ろ向き研究— (30-2) |
| 研究責任者の氏名 (部門) | 福田妙子 (麻酔科) |
| 研究の対象期間 | 平成26年4月1日～平成30年3月31日の期間に、全身麻酔下で手術をお受けになった15歳以上の方が対象です。 |
| 研究の目的 | 機構病院で外科的治療をお受けになった患者さんの診療等を通して集積された診療情報からデータを抽出し、鎮痛薬と鎮静薬・向精神病薬が予後に影響を与えているかどうかを分析し、今後のより良い周術期管理に向けて指針を与える事が本研究の目的です。 |
| 研究の概要 | ①厚生労働省が実施している「DPC導入の影響評価に関する調査に提出しているデータ」と②「診療内容を記載した診療報酬明細書(レセプト)のデータ」を二次的に利用させていただくこととなります。 |
| 研究に使用される項目 | 患者さんに提供させていただいた医療行為(手術、検査、処置、麻酔、薬剤処方等)に係わる情報となります。 |
| 個人情報の保護について | 本研究で利用させていただく個人情報は、国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部(東京都目黒区)内で患者さん個人が直接特定できないよう匿名化情報に加工した後に分析を行います。また、匿名化したデータも厳格に管理・保護いたしますので、プライバシーに係る個人情報が外部に漏洩する事は一切ございません。なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがありますが、集団を記述した数値データとし、患者さん個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。 |
| 共同研究機関の有無 (名称、責任者氏名) | 〒152-8621東京都目黒区東が丘2-5-21 国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部 |
| 備考 | |

お問い合わせ先：〒300-8585茨城県土浦市下高津2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター (電話：029-822-5050)